

## 第2学年C組 保健体育科（保健分野）学習指導案

授業者 内田 貴美子

### 1 単元名 「傷害の防止」（エ）応急手当の意義と実際

### 2 単元について

本単元では、傷害の多くは適切な対策によって防止できること、応急手当は傷害の悪化を防止することができること、包帯法やAEDの使用を含む心肺蘇生法などの応急手当ができるようにすること、危険を予測し、その回避方法を考え表現することができるようにすることを目指している。「（エ）応急手当の意義と実際」では、迅速かつ適切な手当は傷害の悪化を防止できることを理解できるようにする。その際、応急手当の方法として止血や患部の保護や固定、気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED使用の心肺蘇生法を取り上げ理解できるようにする。さらに、必要に応じて医師や医療機関などへの連絡を行うことについても触れる。

また、胸骨圧迫、AED使用などの心肺蘇生法、包帯法や止血法としての直接圧迫法などを取り上げ、実習を通して応急手当ができるようにする。

### 3 生徒の実態

本学級の生徒は、体育の授業や部活動等の運動時など日常の学校生活の中でけがを負い保健室を利用することがある。けがの程度は、擦り傷等の軽傷のものから骨折や頭部の打撲等の重傷のものまで様々である。けがを負った生徒や保健室に引率した生徒らは、けがの状況を把握し詳細に説明できるものの、けがの状態に応じた応急手当を自分たちで実施できる生徒は多くない。また、なぜ迅速な手当が重要なのかという応急手当の意義を理解できている生徒も多くない。

### 4 教師の指導観

本校の研究主題を受け、各教科等共通の二つの手立てを基に指導をしていく。

#### (1) 挑戦心を引き出す学習指導の工夫

生徒一人ひとりの具体的な経験や生活と接点を見いだすことができるような教材の工夫をするとともに、要所要所の対話の場面を単元計画に位置付ける。

#### (2) 個別最適な学びの工夫

様々な事例やデータの比較等の探究のツールとしてICTを活用していく。その際、グループでの学習形態としてICTの活用とともに対話の場面を作り、協働的な学習となるようにする。

### 5 単元の目標

- (1) 適切な応急手当は、傷害の悪化を防止することができることについて理解できるようにするとともに、包帯法や心肺蘇生法などの技能を身に付けることができるようにする。

<知識及び技能>

- (2) 傷害に応じた適切な応急手当について、習得した知識や技能を傷害の状態に合わせて活用

し、傷害の悪化を防止する方法を見いだすことができるようにする。

＜思考力，判断力，表現力等＞

- (3) 傷害の防止について，自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。
- ＜学びに向かう力，人間性等＞

## 6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①傷害が発生した際に迅速かつ適切な応急手当をすることは，傷害の悪化を防止できることや応急手当の方法として止血や患部の保護，固定があることについて，理解したことを言ったり書いたりするとともに実習を通して止血法としての直接圧迫法などができる。</p> <p>②交通事故や自然災害などによる傷害は，人的要因，環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③交通事故などによる傷害を防止するためには，人的要因や環境要因に関わる危険を予測し，それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④自然災害による傷害は，例えば地震が発生した場合に家屋の倒壊などによる危険が原因となって生じることや地震に伴って発生する津波などの二次災害によっても生じること。自然災害による傷害の防止には，自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当には，気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED使用の心肺蘇生法があり，その方法について理解したことを言ったり書いたりするとともに，実習を通して応急手当ができる。</p>	<p>①傷害の防止に関わる事象や情報などについて整理したり個人生活と関連付けたりして自他の課題を発見している。</p> <p>②自然災害などによる傷害の防止について，習得した知識や技能を自他の生活に適用したり，傷害の状態に合わせて傷害の悪化を防止する方法を見いだしたり，傷害を引き起こす様々な危険を予測し，回避する方法を選択したりしている。</p>	<p>①傷害の防止について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

## 7 単元の指導と評価の計画（全7時間）本時は○印

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
① 応急手当の意義と実際	<p>応急手当による傷害の悪化防止について理解することができるようにするとともに，包帯法や止血法としての直接圧迫法ができるようにする。</p> <p>1 倒れている人に遭遇した場合の行動をグループでシミュレーションする。</p> <p>2 応急手当の意義と手当の基本を確認する。</p> <p>3 直接圧迫止血法の実習を行う。</p>	①			<p>(学習活動2・3) &lt;知-①&gt;</p> <p>傷害が発生した際の迅速かつ適切な応急手当は，傷害の悪化を防止できることや手当の方法について理解したことを言ったり，書いたりするとともに，実習を通して直接圧迫法ができることを【観察・ワークシート】で捉える。</p>

2 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因	<p>交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などの関わりによって発生することについて理解することができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自他の生活を振り返り、傷害の発生する場面に気付く。</li> <li>2 タブレット端末を用いて、事故や傷害の例を調べる。</li> <li>3 傷害は人的要因や環境要因が関わって発生することについて確認し、調べた事例についてグループで話し合う。</li> <li>4 グループで話し合った内容を全体で共有する。</li> </ol>	②		<p>(学習活動3・4) 〈知-②〉</p> <p>交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などの関わりによって発生することについて、理解したことを言ったり書いたりしている内容を【観察・ワークシート】で捉える。</p> <p>☆学校研究とのかかわり</p>
3 交通事故などによる傷害の防止	<p>交通事故などによる傷害は、危険を予測し適切な対策をとることで防ぐことができることを理解できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分たちの生活区域で発生した事故の事例を知る。</li> <li>2 グループで、人的要因と環境要因について話し合う。</li> <li>3 グループで話し合った内容を全体で共有する。</li> <li>4 傷害の多くは適切な対策で防げることを確認する。</li> </ol>	③		<p>(学習活動2・4) 〈知-③〉</p> <p>交通事故などの傷害の防止には、危険を予測し、適切な対策を行うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている内容を【観察・ワークシート】で捉える。☆学校研究とのかかわり</p>
4	<p>傷害の防止に関わる事象や情報などについて整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事故や犯罪が原因となる傷害の例について、グループで話し合い、危険の予測と適切な対策方法考える。</li> <li>2 グループで話し合った内容を全体で共有する。</li> <li>3 自分の生活に生かせそうなことを考え、まとめる。</li> </ol>	①		<p>(学習活動3) 〈思-①〉</p> <p>傷害の防止に関わる事象や情報などについて整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している内容を【観察・ワークシート】で捉える。</p>
5 自然災害による傷害の防止	<p>自然災害への備えと傷害の防止について理解することができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自然災害による傷害の発生事例を確認する。</li> <li>2 自然災害への備えとして、各自が実践していることをグループで出し合う。</li> <li>3 自他の安全確保のため冷静な行動の必要性を確認する。</li> </ol>	④		<p>(学習活動1・3) 〈知-⑤〉</p> <p>自然災害による傷害は家屋の倒壊や二次災害で生じること、冷静で迅速な行動が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている内容を【観察・ワークシート】で捉える。</p>
6	<p>自然災害などによる傷害の防止について、習得した知識や技能を自他の生活に適用したり、傷害の状態に応じて悪化を防ぐ方法を見いだしたりしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東日本大震災の経験から、災害時の行動を考える。</li> <li>2 災害時の傷害の状態に応じた手当をグループで考える。</li> </ol>	②		<p>(学習活動2) 〈思-②〉</p> <p>習得した知識や技能を自他の生活に適用したり、傷害の状態に応じて悪化を防ぐ方法を見いだしたりしている内容を【観察・ワークシート】で捉える。</p>
7 応急手当の意義と実際	<p>心肺蘇生法について理解するとともに、心肺蘇生法をできるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心肺停止に陥った人に遭遇した場合の対応を想定し、グループで課題の解決に取り組む。</li> <li>2 教科書や資料から心肺蘇生法について確認する。</li> <li>3 再度、グループで課題に取り組む。</li> <li>4 全体で心肺蘇生法を確認する。</li> </ol>	⑤	①	<p>(学習内容1) 〈態-①〉</p> <p>傷害の防止について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている状況を【観察】で捉える。</p> <p>(学習内容3) 〈知-⑤〉</p> <p>心肺蘇生法について理解したことを言ったり書いたりし、実習を通してできる状況を【観察・ワークシート】で捉える。</p>

## 8 本時の学習と指導（1／7時）

(1) ねらい

応急手当による傷害の悪化防止について理解したことを言ったり書いたりするとともに、  
包帯法や止血法としての直接圧迫法ができる。 〈知識及び技能〉

(2) 準備…プロジェクター，ホワイトボード，ダミー人形，資料，ワークシート，PC

(3) 展開

	学習内容・学習活動	学習形態	教師の指導・支援（◆評価規準と方法）
導入 3分	1 ケガをしている人や倒れている人に遭遇した場合、どうするかを考える。	一斉	○小学校で学習した内容を想起し、できることを考えるよう促す。 ○何人かに考えを聞く。
展開 40分	2 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">応急手当の意義を理解し、きずの手当の基本を身に付けよう。</div> 3 倒れている人に遭遇した場合の行動をシミュレーションする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">〈予想される生徒の反応〉 ・助けを呼ぶ ・救急車を要請する ・心臓マッサージを行う ・AEDを使う</div> 4 応急手当の意義と基本を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ー指導すべき内容ー ・迅速かつ適切な応急手当は傷害の悪化を防止できること ・傷害の状態に応じた手当が基本であること ・止血法としての直接圧迫法ができること</div> 5 課題に取り組む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学校からの帰り道、うずくまっている高齢の女性に遭遇。声をかけると返事があったが次第にぐったりして反応がなくなった。右足の太ももから噴き出すように出血している。</div>	一斉  グループ  一斉  グループ	○本時のねらいを提示する。  ○救急要請から到着までの約8.5分間の行動をシミュレーションするように指示する。  ○学習活動3においてグループで考えた行動を聞き、教科書や資料につなぎながら応急手当の意義と基本をおさえる。 ○場面設定をし、グループで課題に取り組むよう指示する。 ☆学校研究とのかかわり  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◆〈知一①〉【観察・ワークシート】 傷害が発生した際の迅速かつ適切な応急手当は、傷害の悪化を防止できることや手当の方法について理解したことを言ったり書いたりするとともに、実習を通して直接圧迫法ができる。 〈「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て〉 ・教科書を参考にしたり、仲間とともに学習を振り返るよう促したり、個人のケガの経験を想起するよう促したりして、個別に説明する。</div>
まとめ 7分	6 本時のまとめを行う。 (1) 学習内容をワークシートにまとめる。 (2) 何人かの内容を共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">〈記述及び発言の例〉 応急手当は傷害の悪化を防止し、命を救うこともできる。出血をとまなうケガの際は、きずの手当の基本にならって自分でもやってみようと思う。</div>	一斉	○学習内容をワークシートにまとめるよう指示する。 ○何人かのまとめを聞く。 ○学校生活や交通事故などによる傷害は、危険を予測し適切に対策することで回避することができることを伝え、次時につなぐ。

